



レニーと学ぼう!

ミニメド™700シリーズ
インスリンポンプサークル

Insulin pump Circle

ポンプ編

No. 1

「カニューレ閉塞（詰まり）の原因と対策を正しく理解しましょう」の巻



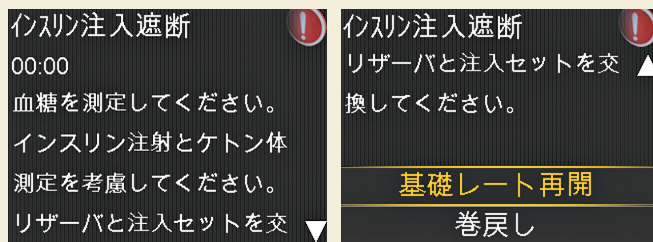
カニューレの詰まりの原因は？
対策や予防はどうすればいいの？



カニューレの詰まりは、注入セットの不適切な装着や留置によって起こることが多いのじゃ。高血糖を防ぐためにも正しい使い方を身につけることが大切なんじゃよ!

詰まりを知らせるインスリン注入遮断アラームとは？

カニューレあるいはチューブの屈曲などが原因で回路が閉塞し、その閉塞圧をポンプが検知した時に発生するアラームです。



詰まりによるアラームはすぐに鳴らない可能性があります。

- ・就寝中など、閉塞圧の検知に相当な時間がかかることがあります。
- ・カニューレの部分閉塞やカニューレが体の外に出ているなどの場合、アラームは発生しません。
- ・カニューレ交換の失敗により就寝中に閉塞が起こる可能性があるため、就寝前にカニューレを交換しないでください。
- ・アラームが発生していなくても異常な高血糖を確認したら閉塞の可能性を疑うようにしてください。

血糖自己測定を定期的に行うことが大切なんじゃぞ!



インスリン注入遮断アラームが発生したら

速やかに血糖値を測定し、高血糖の場合はインスリン注射で補正してください。
新しいリザーバとチューブに交換してください。

*インスリン注射：ペン型注入器等
高血糖時のインスリン量などは主治医と相談しておきましょう



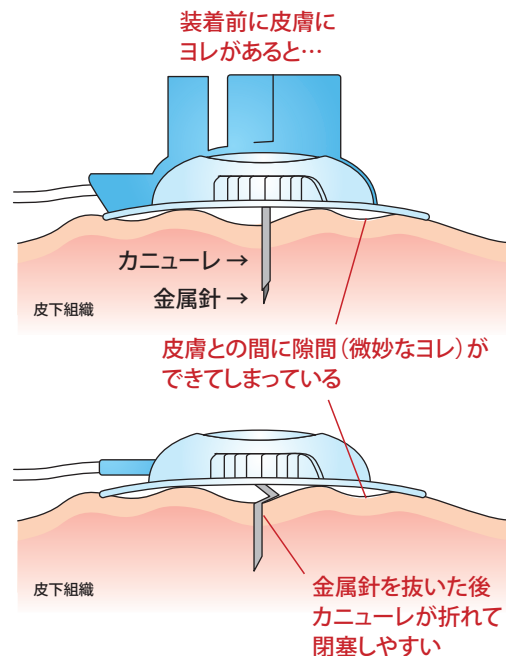
インスリン注入遮断アラームが鳴らないのに血糖値が高い場合は？

- ・カニューレや注入セットのチューブまたはリザーバとの接続部分に問題があり、インスリンが漏れている
- ・装着部位に問題がありインスリンの吸収がうまく行われていない

✓ カニューレ部分の確認事項

- 注入セットは2～3日以内で交換していますか？
- 装着部位を毎回変えていますか？
- 皮膚がかたくなっている部位を避けて装着していますか？
- 皮下でカニューレはまっすぐ留置されていますか？
皮膚とシールの間に隙間ができないよう、皮膚を伸ばして装着することが大切です。
- 皮下組織の薄い部位を避けて装着していますか？
詰まりが多く発生する場合には、シルエット(斜め刺しタイプ)への変更を検討してください。

誤ったカニューレの留置状態

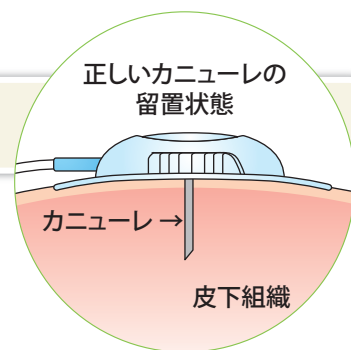


✓ チューブまたはリザーバとの接続部分の確認事項

- チューブ部分に折れ曲がり・詰まり・ねじれがないことを確認できましたか？
- 接続部分に注入を妨げる物がないことを確認できましたか？
- チューブとカニューレ部分の接続部分を外して、チューブ先端からインスリンが出てくることを確認できましたか？

Check point!

カニューレの詰まりの原因の多くは、**注入セットの不適切な装着や留置**が影響しています。トラブルを防ぐために、下記内容を十分ご確認ください。



1 皮膚がかたくなっていない**適切な部位**を選択し、留置部位は**毎回変える**。

2 クイックセットをクイックサーターに**しっかり固定し**、**皮膚をつままずに皮膚を伸ばして装着する**。

※装着の方法がとても重要です。慣れるまで医療従事者による十分な教育を受けましょう。

3 カニューレが**根元まで**入っていることを確認し、粘着テープで**しっかり固定する**。

4 インスリンが適切に注入されていることを確認するため、**カニューレ留置2時間後に血糖自己測定で血糖値を確認する**。

5 **1日4回以上、血糖自己測定**を行う。

6 接続部のずれや外れ、注入セットの折れ曲がり・詰まり・漏れがないことを**常にチェック**する。装着部が濡れていたり、インスリンのにおいがしたりする場合、カニューレの抜けや接続不良が疑われる。接続部をチェックし、**カニューレの抜けや接続不良が疑われる場合は、注入セットを交換**する。

7 インスリンポンプによるインスリン注入ができない場合に備え、**緊急セット(インスリンペン型注入器やインスリン用注射器など)を必ず携帯**する。ご家族やご友人、職場の方へ緊急セットの保管場所を知らせておく。

※詰まりによる注入セットトラブルの他、水没・落下などによる故障や災害時のためにも備えてください。

8 高血糖など体調に**異変があった場合、医療機関へただちに連絡**をする。

9 **緊急事態の対処方法を予め主治医と決めておく**。

※高血糖時の対処方法、インスリンポンプ以外の予備の注入方法などについて医療機関へご相談ください。

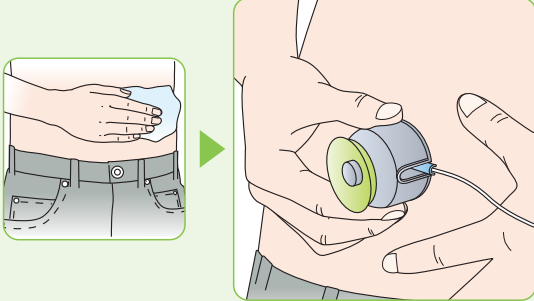


Let's try!

カニューレの詰まりによる高血糖を防ぐためにも、
クイックセットを正しく装着・留置することが大切です。

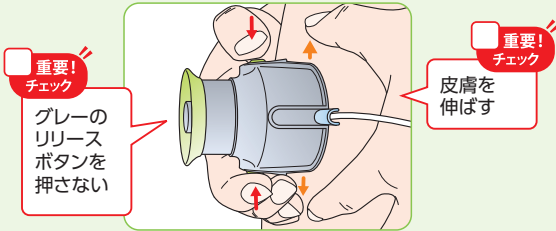


1 消毒し、皮膚を伸ばす



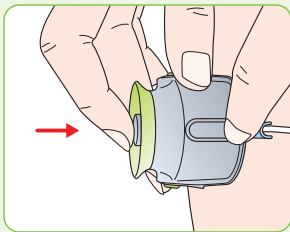
アルコール消毒をし、チューブの位置がクイックサーターの下部または横側にくるように置き、皮膚はつままずに伸ばします。

2 2つの緑のボタンを同時に押す



2つの緑のサイドボタンを同時に押します。

3 グレーのボタンを押す



グレーのリリースボタンを押し、クイックセットとクイックサーターの固定を解除します。

製品を安全にご使用いただくため、必ず電子添文とユーザガイドを併せてご確認ください。

日本メドトロニック株式会社

ダイアピーティス
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

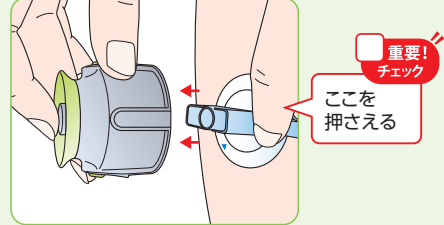
medtronic.co.jp

販売名:メドトロニックミニメド700シリーズ
医療機器承認番号:22500BZX00369000

販売名:パラタイムリザーバー
医療機器製造販売届出番号:13B1X00261D00001

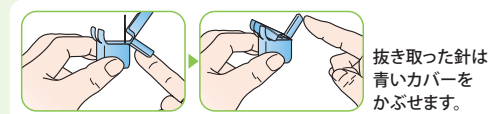
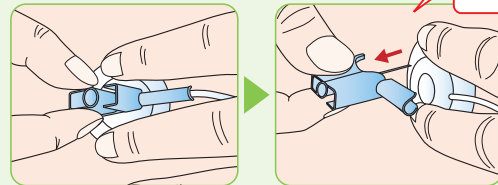
販売名:インスリンポンプ 注入セット
医療機器承認番号:225ACBZX00013000

4 押さえながら引き上げる



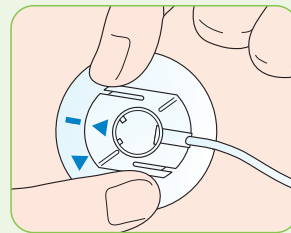
青いプラスチックの部分を押さえながらクイックサーターを引き上げます。

5 引き抜く



抜き取った金属針は折り畳み、医療廃棄物として廃棄します。

6 固定する



粘着テープを押さえ、しっかりとテープを固定します。



ポンプアクセサリショップ
便利な商品を、ポンプの安全使用に
お役立てください。
<https://shop-lenny-medtronic-jp.com/>

Club Lennyとハローレニー!に登録しましょう

ご希望の患者さんはClub Lenny(メール配信サービスなど)やハローレニー!(はじめてすぐの患者さん向け電話サポートサービス)にお申し込みいただくことが可能です。登録は必須ではありません。詳細はこちらをご参照ください。 www.medtronic.com/clublenny

